

平成18年度 第34回岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会 (兼第37回全国高等学校選抜優勝大会県予選会)

男子展望

美濃加茂が優勝候補筆頭である。個人技の高い熊澤恭平・3Pシューターの安藤聖也を中心にオフェンシブなバスケットは健在である。また、海外遠征・全国高校総体と数々の大会を経験し安定した力をみせるであろう。対抗には、県総体準優勝の大垣商業があげられる。木村貴洋を中心に個人能力が高い選手が多く、波に乗ったときのオフェンス力は相手にとって脅威である。県総体3位で速攻が得意の高山西も安定してきているだけにおもしろい。県総体4位の大垣工業、ベスト8の中津川工業・岐阜農林・岐南工業・岐阜総合学園とどのチームにも優勝のチャンスがある。特に今年度、本来の力を出し切れていない岐阜総合学園が復活を目指し、虎視眈々と優勝を狙っている。どの試合も熱戦が繰り広げられることが予想される。

Aブロック・第1シード美濃加茂が最有力である。対抗には、粘り強いディフェンスから速攻が信条の中津川工業があげられる。順当に行けばこの2校がベスト4を懸けて戦うであろう。

Bブロック・第2シード大垣商業は長身センター三和賢が抜けた穴は大きいものの選手層は厚く安定した戦いをみせるであろう。対抗には、岐阜総合学園があげられる。杉本慎太郎・柴原佑弥など昨年からの中心選手が残ったものの、新人戦で美濃加茂に勝利しながら得失点差で2位、県総体ではベスト4を懸けて大垣商業と対戦し負けている。その大垣商業と今回もベスト4を懸けて戦う可能性が高いだけに岐阜総合学園としては是が非でも負けられない一戦である。

Cブロック・第3シード高山西は、機動力をいかしたバスケットで上位を狙う。対抗には、岐南工業があげられる。激しいディフェンスから速攻に繋げる。チームにもまとまりがあり勢いに乗ったらおもしろい存在である。

Dブロック・第4シード大垣工業が上位を狙う。対抗には、岐阜農林があげられる。下級生が主体であるため勢いに乗るとおもしろい存在である。

女子展望

岐阜女子が選手層の厚さ・個々の能力の高さで群を抜いている。双子の姉妹、田中優里・沙季の高さをいかした攻撃とガード陣の激しいディフェンスから機動力をいかしたバスケットでつけいる隙は見あたらず優勝候補筆頭である。対抗には、近年安定した力を見せている県岐阜商業があげられる。粘り強いディフェンスから接戦に持ち込みたい。高山西も長身センター張麗娜(190cm)を中心にどこまでがんばれるか楽しみである。また、シード校の岐阜総合、関商工の頑張りにも期待したい。

Aブロック・第1シード岐阜女子が圧倒的な強さでベスト4に進出するだろう。対抗には、関商工があげられる。基本に忠実なバスケットでどこまで戦うことができるか楽しみである。

Bブロック・第2シード県岐阜商が安定した戦いでベスト4に進出すると思われる。

Cブロック・第3シード高山西が最有力である。対抗には、多治見西、大垣商業があげられるが厳しい戦いになるだろう。

Dブロック・岐阜総合学園が有力である。対抗には、加茂があげられる。また、新人戦で5位に入賞している土岐商の存在もおもしろい。